

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 構想概要

広島大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

本学の基本理念「平和を希求する精神」と「地域社会・国際社会との共存」に基づき、本学において強みのある学問分野の教育・研究資源を提供し、アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財を育成する。

【構想の概要】

(1)食品科学と農学、(2)工学、(3)経済学、(4)言語・文化の4分野で、学士課程における一学期間の学生交流を行う。英語による講義、学生が企画運営するセミナーや国際課題研究、留学先/留学後の中長期インターンシップを通じ、グローバル・コンピテンシー(語学力、発信力、交渉力、異文化理解力、リーダーシップ)と、実社会の即戦力となるための能力を鍛える。

■ 交流プログラムの質の保証

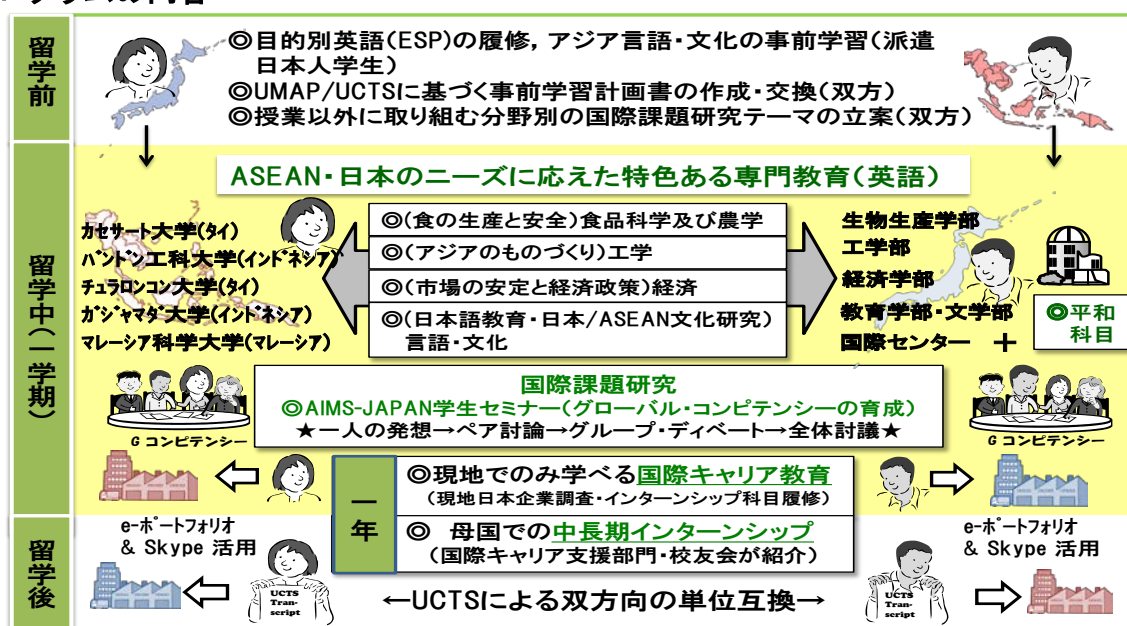
・ 教育の質保証、改善・発展のための協働PDCAサイクル

AIMS協定校と本学の間で教員の派遣・受入を行い、シラバス点検・評価システム、学修計画・成績評価基準のシラバス明示、コースナンバリング、GPA制度について、開発→実践→評価→改善・発展のPDCAサイクルを協働で確立する。

・ 成績管理・学修課程・出口管理の厳密化、単位互換

双方向のUCTS学修計画書交換を徹底し、国内AIMS参加大学連携による新たなUCTSを普及させる。さらに、4段階評価表によりグローバルコンピテンシー達成度評価を行い、e-ポートフォリオとSkypeの活用によりインターンシップの成長促進と確認を行う。

■ 交流プログラムの内容



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ 注)申請時の計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣								2	23					2	23					2	23					2	23			
学生の受入												25						28						28						28

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

整備項目	受 入	派 遣
在籍管理	●Webベースの学生情報システムの整備	
修学支援	●教育コーディネーターによる履修指導・相談 ●ピアTA(日本人学生)を各授業に配置 ●各学部で英語で対応可能な職員を配置	●Skype, e-ポートフォリオおよび派遣前後のオリエンテーション
生活支援	●円滑な生活開始支援 ●AIMS基金の設置	●学生寮や生活情報の提供 ●現地大学でのオリエンテーション ●現地校友会による生活支援
フォローアップ	●国際センター・保健管理センター・キャリアセンターによる連携サポート体制 ●中長期インターンシップの支援 ●参加学生によるOB・OG会立ち上げ	

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

広島大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

本学の基本理念「平和を希求する精神」と「地域社会・国際社会との共存」に基づき、本学において強みのある学問分野の教育・研究資源を提供し、アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財を育成する。

【構想の概要】

(1)食品科学と農学、(2)工学、(3)経済学、(4)言語・文化の4分野で、学士課程における一学期間の学生交流を行う。英語による講義、学生が企画運営するセミナーや国際課題研究、留学先/留学後の中長期インターンシップを通じ、グローバル・コンピテンシー(語学力、発信力、交渉力、異文化理解力、リーダーシップ)と、実社会の即戦力となるための能力を鍛える。

■ 交流プログラムの質の保証

- 各分野の担当教職員が協定大学を訪問し、学生募集・選考方法、留学中の受入体制、単位互換、協働教育授業の実施等について綿密な打ち合わせを行うとともに、協定大学の学修環境を視察した。
- 協定大学3校の教員を招聘して本学にてキックオフ・ミーティングを開催し、プログラム実施に向けての詳細設計について交渉を重ねるとともに、本学の学修環境を紹介した。
- オーストラリアのフリンダース大学から講師を招聘し、英語で教える授業の教授法や内容等に関するFD研修を全学で開催し、プログラムにおいて授業提供する教員4名が参加した。

■ 交流プログラムの内容

平成25年度 主な交流実績

・キックオフ・シンポジウム

本学学生・教職員を対象にAIMSプログラムの周知、プログラムの内容の紹介、協定大学の紹介を行ったほか、JETRO職員の基調講演をベースとし、協定大学、企業が参加してASEANでのグローバル人材養成をテーマにパネルディスカッションを行い、プログラムへの理解を促すとともに今後の展開の可能性を模索した。

・試行受入プログラム

食品科学・農学分野において、カセサート大学から学生4名が来日し、上記シンポジウムへの参加、本学学生との交流、学修環境の見学、模擬授業の受講、宿舎の見学等を実施した。

・試行派遣プログラム

食品科学・農学分野において、本学学生5名がカセサート大学を訪問し、4学部での模擬授業を聴講したほか図書館などの施設見学、カリキュラム案内及び生活環境の案内等を受けた。



キックオフ・シンポジウム



試行派遣プログラム

平成26年度以降の交流に向けた準備状況

・平成26年度4月受入に向けて

受入学生10名の選考を1月末に実施し、2～3月にかけて受入準備を推進。

・平成26年度8月派遣に向けて

留学説明会を開催して本プログラムの周知を行った上、4月上旬を締切として募集した。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H25は実績、H26以降は申請時の計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	5	0	0	0	-	2	23	-	-	-	-	2	23	-	-	-	-	2	23	-	-	-	-	2	23	-	-	-
学生の受入	4						25						28						28						28					

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

(受入・派遣)

- プログラム全体を管理する教育コーディネーター1名、インターンシップを支援するインターンシップコーディネーター1名を配置
- 各部署に受入・派遣学生をきめ細やかにサポートする支援職員を配置
- 専用ウェブサイトのコンテンツ整備、部局ウェブサイトの英語化推進
- プログラム紹介リーフレットの作成、インフォメーションパッケージの作成
- 派遣予定学生を受入学生のチューターに任命(→受入学生の生活サポート、派遣先の語学や文化の学習)

(受入)

- 受入学生用借り上げ宿舎の確保、生活支援情報等の作成、シラバスの整備
- オンラインシステム(WebCT)へのe-ポートフォリオ機能の整備、教科書等の英語化、図書の実施、学生控室の充実

(派遣)

- 派遣学生に対する事前オリエンテーションの実施、学生寮や生活情報の提供
- 派遣先国の情勢について情報提供し、緊急時の対応などを指導
- 事前学習(ESP(目的別英語)、現地語・文化理解等)の開始



大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H26取組概要 広島大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

本学の基本理念「平和を希求する精神」と「地域社会・国際社会との共存」に基づき、本学において強みのある学問分野の教育・研究資源を提供し、アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財を育成する。

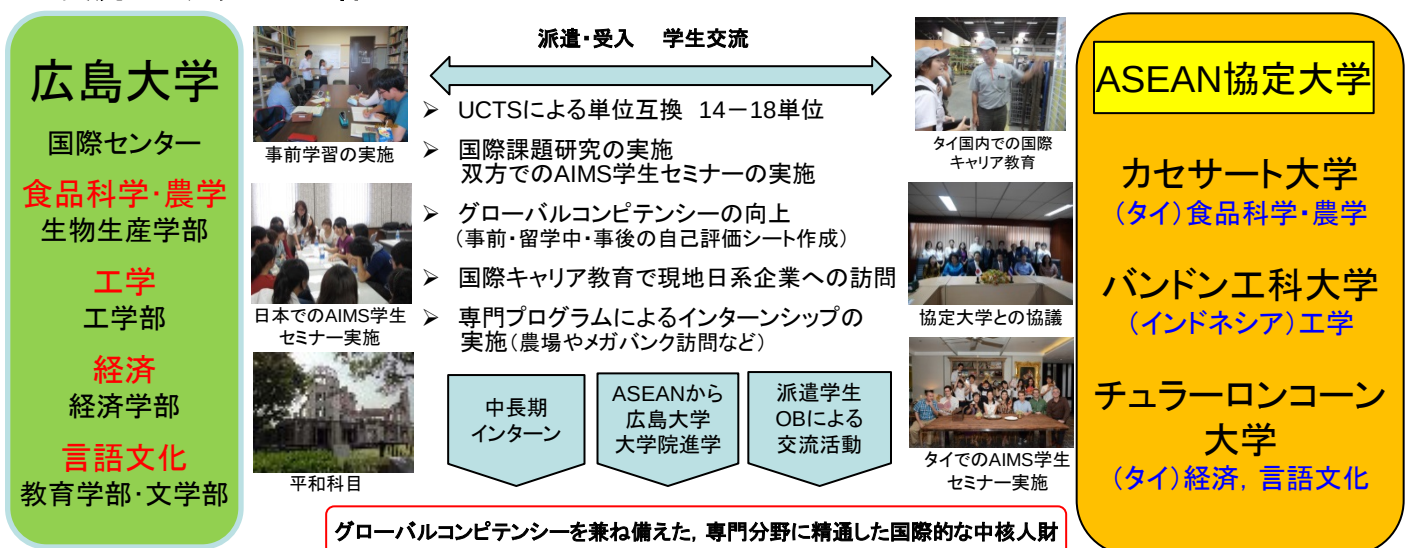
【構想の概要】

(1)食品科学と農学、(2)工学、(3)経済学、(4)言語・文化の4分野で、学士課程における一学期間の学生交流を行う。英語による講義、学生によるAIMS学生セミナーや国際課題研究、留学先/留学後の国際キャリア教育を通じ、グローバル・コンピテンシー(国際コミュニケーション力、成果志向、協調性、自己理解力、異文化理解力、リーダーシップ、基本的研究・発表力)と、実社会の即戦力となるための能力を鍛える。

■ 交流プログラムの質の保証

- ・新たなUCTS(UMAP単位互換制度)の概念に基づき、双方向での単位互換を実施。
- ・協定大学との詳細な事前協議に基づく、専門教育科目内容の互換性向上と授業科目の3単位化を推進。
- ・獲得すべきグローバル・コンピテンシーを設定し、学生の自己評価を基本としたコンピテンシー評価を実施。
- ・英語で教える授業の教授法や内容等に関するFD研修の実施。

■ 交流プログラムの内容



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H26までは実績、H27以降は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	2	23	0	0	0	-	2	23	-	-	-	-	2	23	-	-	-	-	2	23	-	-	-
学生の受入	0						22						28						28						28					

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

(受入・派遣)

- ・専任プログラムコーディネーターと各部署サポート支援職員による、日英両言語でのきめ細やかな学生支援の実施
- ・専用ウェブサイトのコンテンツ整備拡充および専用Facebookによる学内外へのプログラム活動の周知
- ・プログラム紹介リーフレット[日英]の作成・配布、インフォメーションパッケージ[英語]の作成・配布およびHP公開
- ・派遣予定学生を受入学生のチューターに任命(→受入学生の生活サポート、派遣先の語学や文化の学習)
- ・全学相互学生交流活動の実施(学内国際交流活動、ランチ交流会等)、学生企画で獲得した自治体補助金交流活動の補助等

(受入)

- ・受入学生用借り上げ宿舍の確保、生活支援情報等の作成、シラバスの整備
- ・来日前の留学履修相談対応、オリエンテーション複数回実施、学生控室・学修環境の充実
- ・部局奨学金の設立など経済的支援の拡充

(派遣)

- ・派遣学生に対する事前オリエンテーションの複数回実施、学生寮や生活情報の提供
- ・リスク管理セミナーの受講義務を課すとともに派遣先国の情勢について情報提供し、緊急時の対応などを指導
- ・事前学習(ESP(目的別英語)、現地語・文化理解等)の実施、ライティングセミナーの参加
- ・派遣中にはメーリングリストやSNS等を利用した継続的な学生指導・安否確認を実施



学生による国際交流活動(東広島市市民協働のまちづくり活動応援補助金事業)

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H27取組概要 広島大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人材教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

本学の基本理念「平和を希求する精神」と「地域社会・国際社会との共存」に基づき、本学において強みのある学問分野の教育・研究資源を提供し、アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人材を育成する。

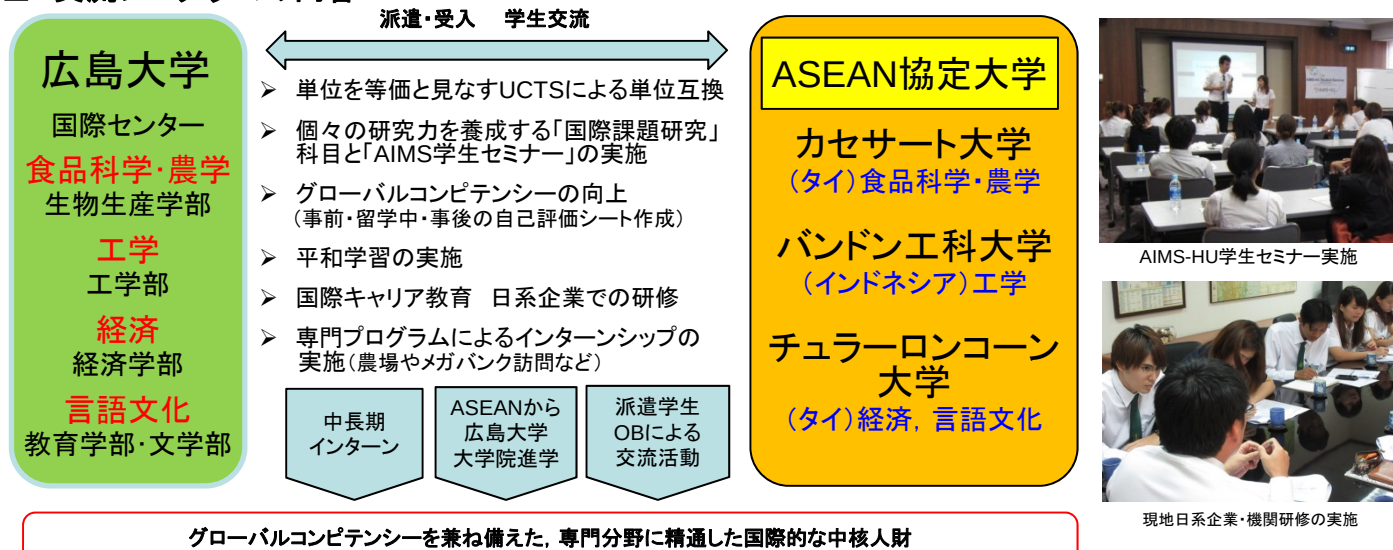
【構想の概要】

(1)食品科学と農学, (2)工学, (3)経済学, (4)言語・文化の4分野で、学士課程における一学期間の学生交流を行う。英語による講義、学生によるAIMS学生セミナーや国際課題研究、留学先/留学後の国際キャリア教育を通じ、グローバル・コンピテンシー(国際コミュニケーション力、成果志向、協調性、自己理解力、異文化理解力、リーダーシップ、基本的研究・発表力)と、実社会の即戦力となるための能力を鍛える。

■ 交流プログラムの質の保証

- ・ 新たなUCTS(UMAP単位互換制度)の概念に基づき、換算方式のいらない双方向の単位互換を実現。
- ・ 協定大学との詳細な事前協議に基づく、専門教育科目内容の互換性向上と授業科目の3単位化を推進。
- ・ 獲得すべきグローバル・コンピテンシーを設定し、学生の自己評価を基本としたコンピテンシー評価を実施。

■ 交流プログラムの内容



グローバルコンピテンシーを兼ね備えた、専門分野に精通した国際的な中核人材

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H27までは実績、H28以降は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	2	23	0	0	0	0	1	21	0	0	0	-	2	23	-	-	-	-	2	23	-	-	-
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	3	19	0	0	0	0	4	22	0	0	0	-	5	23	-	-	-	-	5	23	-	-	-

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

【受入・派遣共通】

- ・ 専任プログラムコーディネータと各部局サポート支援職員による、きめ細やかな学生支援
- ・ 全学相互学生交流活動の実施(学内国際交流活動、ランチ交流会等)

【受入】

- ・ オリエンテーションの実施
- ・ シラバスの整備・履修相談対応
- ・ 部局支援職員による在籍管理・学生支援
- ・ 学生チューター・TAの配置
- ・ 部局奨学金の設立など経済的支援の拡充

【派遣】

- ・ 事前学習 (ESP(目的別英語)、現地語・文化理解等)の実施
- ・ オリエンテーションの実施、履修相談対応
- ・ 出国から帰国までのリスク管理・学生支援
- ・ 派遣学生OBによる報告会・情報提供



海外渡航リスク管理セミナー



学生による国際交流活動
(東広島市市民協働のまちづくり活動応援補助金事業、)

■ プログラム情報の公開・成果の普及

- ・ 協定大学との新たな派遣プログラム構築・実施(タイ・バンコクでのSTARTプログラム)
- ・ 日本人学生の大学院進学および海外展開を行っている企業・機関への就職
- ・ 受入学生の本学および日本国内大学院への進学・日系企業への就職
- ・ 派遣学生が自主的に企画し獲得した自治体補助金による国際交流活動の実施、学内留学推進活動
- ・ 専用ウェブサイトおよびSNS等による学内外へのプログラム活動の周知

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H28取組概要 広島大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

本学の基本理念「平和を希求する精神」と「地域社会・国際社会との共存」に基づき、本学において強みのある学問分野の教育・研究資源を提供し、アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財を育成する。

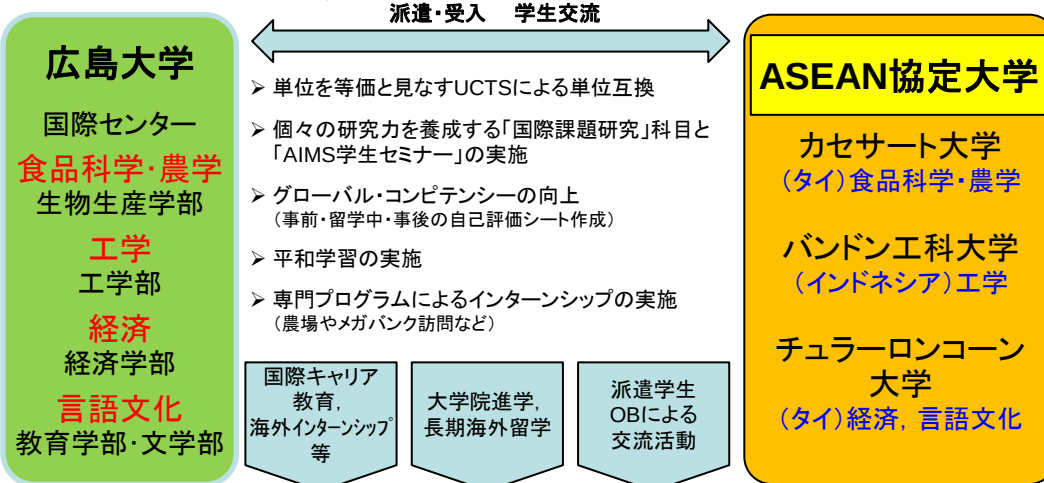
【構想の概要】

(1)食品科学と農学、(2)工学、(3)経済学、(4)言語・文化の4分野で、学士課程における一学期間の学生交流を行う。英語による講義、学生によるAIMS学生セミナーや国際課題研究、留学先/留学後の国際キャリア教育を通じ、グローバル・コンピテンシー(国際コミュニケーション力、成果志向、協調性、自己理解力、異文化理解力、リーダーシップ、基本的研究・発表力)と、実社会の即戦力となるための能力を鍛える。

■ 交流プログラムの質の保証

- ・ 新たなUCTS(UMAP単位互換制度)の概念に基づき、換算方式のいらない双方向の単位互換を実現
- ・ 協定大学との詳細な事前協議に基づく、専門教育科目内容の互換性向上と授業科目の3単位化を推進
- ・ 獲得すべきグローバル・コンピテンシーを設定し、学生の自己評価を基本としたコンピテンシー評価を実施
- ・ Beliefs, Events, and Values Inventory (BEVI)を導入し、コンピテンシーのより客観的な測定を実施

■ 交流プログラムの内容



平和学習
(ヒロシマ被爆体験者による講義の様子)



AIMS-HU学生セミナー
(タイ・カセサート大学内にて)

グローバルコンピテンシーを兼ね備えた、専門分野に精通した国際的な中核人財

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H28までは実績、H29は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	2	23	0	0	0	0	1	21	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	2	23	0	0	0
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	3	19	0	0	0	0	4	22	0	0	0	0	4	21	0	0	0	0	5	23	0	0	0

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

【受入・派遣共通】

- ・ 専任プログラムコーディネータと各部署サポート支援職員による、きめ細やかな学生支援
- ・ 全学相互学生交流活動の実施(学内国際交流活動、ランチ交流会等)
- ・ オリエンテーションの実施、履修相談対応

【受入】

- ・ 部局支援職員による在籍管理・学生支援
- ・ 学生チューター・TAの配置
- ・ 部局奨学金の設立など経済的支援の拡充
- ・ 初心者向け日本語講座の提供

【派遣】

- ・ 事前学習 (ESP(目的別英語)、現地語・文化理解等)の実施
- ・ 出国から帰国までのリスク管理・学生支援
- ・ 派遣学生OBによる報告会・情報提供



学生交流活動(タイカルチャーデー2016)



合同留学体験報告会

■ プログラム情報の公開・成果の普及

- ・ 日本人学生の大学院進学および海外展開を行っている企業・機関への就職
- ・ 受入学生の本学および日本国内大学院への進学・日系企業への就職
- ・ 派遣学生が自主的に企画し獲得した自治体補助金による国際交流活動の継続実施
- ・ 専用ウェブサイトおよびSNS等による学内外へのプログラム活動の周知

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H29取組概要

広島大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人材教育プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

本学の基本理念「平和を希求する精神」と「地域社会・国際社会との共存」に基づき、本学において強みのある学問分野の教育・研究資源を提供し、アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人材を育成する。

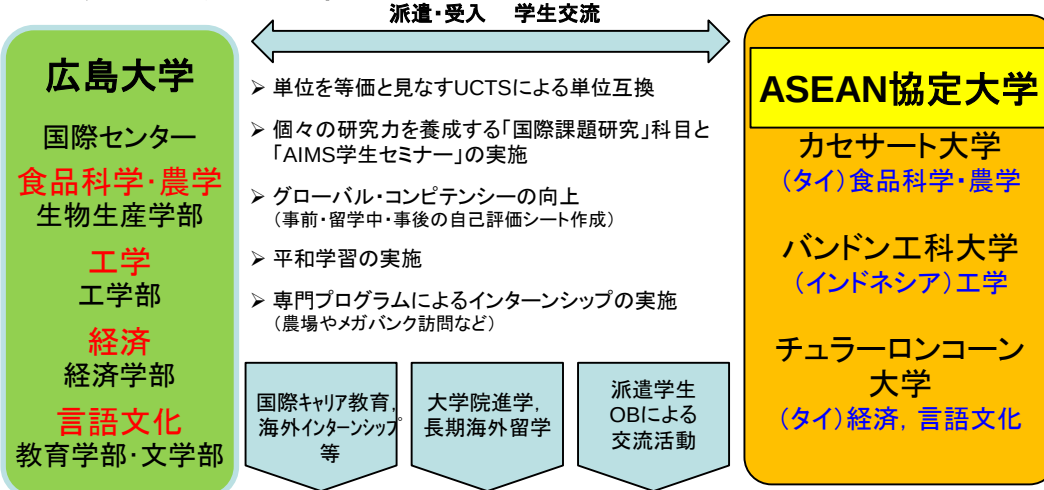
【構想の概要】

(1)食品科学と農学、(2)工学、(3)経済学、(4)言語・文化の4分野で、学士課程における一学期間の学生交流を行う。英語による講義、学生によるAIMS学生セミナーや国際課題研究、留学先/留学後の国際キャリア教育を通じ、グローバル・コンピテンシー(国際コミュニケーション力、成果志向、協調性、自己理解力、異文化理解力、リーダーシップ、基本的研究・発表力)と、実社会の即戦力となるための能力を鍛える。

■ 交流プログラムの質の保証

- 新たなUCTS(UMAP単位互換制度)の概念に基づき、換算方式のいらない双方向の単位互換を実現
- 協定大学との詳細な事前協議に基づく、専門教育科目内容の互換性向上と授業科目の3単位化を推進
- 獲得すべきグローバル・コンピテンシーを設定し、学生の自己評価を基本としたコンピテンシー評価を実施
- Beliefs, Events, and Values Inventory (BEVI)を導入し、コンピテンシーのより客観的な測定を実施

■ 交流プログラムの内容



グローバルコンピテンシーを兼ね備えた、専門分野に精通した国際的な中核人材



平和学習
(ヒロシマ被爆体験者を囲んで)



AIMS-HU学生セミナー
(広島大学内にて)

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	2	23	0	0	0	0	1	21	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	1	16	0	0	0
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	3	19	0	0	0	0	4	22	0	0	0	0	4	21	0	0	0	0	6	22	0	0	0

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

【受入・派遣共通】

- 専任プログラムコーディネータと各部署サポート支援職員による、きめ細やかな学生支援
- 全学相互学生交流活動の実施(学内国際交流活動、ランチ交流会等)
- オリエンテーションの実施、履修相談対応

【受入】

- 部局支援職員による在籍管理・学生支援
- 学生チューター・TAの配置
- 部局奨学金の設立など経済的支援の拡充
- 初心者向け日本語講座の提供

【派遣】

- 事前学習 (ESP(目的別英語)、現地語・文化理解等)の実施
- 出国から帰国までのリスク管理・学生支援
- 派遣学生OBIによる報告会・情報提供



日本語・日本文化講座(書道)

■ プログラム情報の公開・成果の普及

- 日本人学生の大学院進学および海外展開を行っている企業・機関への就職
- 受入学生の本学および日本国内大学院への進学・日系企業への就職
- 派遣学生が自主的に企画し獲得した自治体補助金による国際交流活動の継続実施
- 専用ウェブサイトおよびSNS等による学内外へのプログラム活動の周知
- 協定大学との協議に基づく、事業期間終了後の持続的な学生交流プログラム実施体制の確立及び新たな派遣・受入れプログラムへの展開



派遣学生OBIによる学生交流活動